

【健康栄養学科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

【DP1】学士力1：知識	知識・理解（人や社会の持つ特性や仕組み、多文化・異文化、文化、社会、自然）
【DP2】学士力2：技能	汎用的技能（発想力、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
【DP3】学士力3：態度	態度・志向性（先入観の排除、協働しつつ個性を発揮、共感しつつ成長、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力）
【DP4】学士力4：実践力	総合的な学習経験と創造的思考力（多角的な視点から新しいことを生み出す力）
【DP5】専門力1：論理的思考力	食・栄養・健康の知識をもとに論理的な思考ができる。
【DP6】専門力2：コミュニケーション能力	栄養士として真摯な態度でコミュニケーションをとることができる。
【DP7】専門力3：社会貢献	生活の質の向上に向けて社会に積極的に貢献することができる。
【DP8】専門力4：知識	常に新しい知識や技術の習得に努めることができる。
【DP9】専門力5：技術	常に新しい知識や技術の習得に努めることができる。

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、 授業の到達目標の達成度等	各設問の数値結果を集計し、学生の授業の理解度などの観点から授業の到達度を把握する。これらの分析結果を踏まえ、次年度に向けた具体的改善策を検討する。
2	成績を用いたDP達成度の可視化	毎年、各学期末	学生	科目とDPの対照表を用いて、各学生に対し、DP毎のGPA、学修量を算出するもの	各DP毎のGPAを集計し、DP到達度を把握する。これらの分析結果を踏まえ、次年度に向けた具体的改善策を検討する。
3	学生によるDP達成度の自己評価	毎年、各学期末	学生	DPルーブリック（4段階）を基に学生がDPの達成状況の自己評価するもの	各DP毎のGPAを集計し、DP到達度を把握する。これらの分析結果を踏まえ、次年度に向けた具体的改善策を検討する。
4	成績分布	毎年、各学期末	学生	DPルーブリック（4段階）を基に学生がDPの達成状況の自己評価するもの	本学科の全学生の必修単位数は、96単位（旧カリキュラム）、79単位（新カリキュラム）であり、全学共通科目と教職科目以外はほぼ同じ履修科目である。前年までの比較がしやすいため、学科の中での評価はGPAでの評価が基本となっている。2025年度入学生より教育実習に行かせる基準としてGPAを使用する。また、総代やさがみ発想賞の学科からの候補の選別に、GPAを使用する。
5	卒業年次生アンケート	毎年、卒年次	学生	卒業することが決定した学生を対象に実施するアンケート 学修成果として定めている力（学士力・専門力）の達成度、在学期間における成長実感、教育内容および学修環境に対する満足度等	在学期間全体を通じた教育成果を検証し、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に照らした学修成果の到達状況をする。また、得られた情報をカリキュラム改定の参考資料として利用する。
6	PROG	1年、3年次（希望者のみ）	学生	1年、3年次（希望者のみ）に行う外部テストで、社会で活躍するための汎用的能力を測定するもの	本学科では、評価の基本がGPAとなっているが、今後はPROGも併用した評価を試みる。
7	資格・免許取得状況調査	毎年、卒年次	学生	資格・免許取得（家庭科教員免許）状況	資格や教員免許の取得率を把握し、他大学や前年度実績との比較分析を行うことで、教育到達度の水準を検証する。
8	単位取得状況調査	毎年、卒年次	学生	単位の修得状況	各科目の単位修得率、不合格率、再履修率などを集計・分析することにより、学生の学修到達度を客観的に把握する。

【管理栄養学科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

【DP1】学士力1：知識	知識・理解（人や社会の持つ特性や仕組み、多文化・異文化、文化、社会、自然）
【DP2】学士力2：技能	汎用的技能（発想力、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
【DP3】学士力3：態度	態度・志向性（先入観の排除、協働しつつ個性を発揮、共感しつつ成長、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力）
【DP4】学士力4：実践力	総合的な学習経験と創造的思考力（多角的な視点から新しいことを生み出す力）
【DP5】専門力1：知識・技能・態度	管理栄養士の資格を得るために必要な基本的な能力や知識。
【DP6】専門力2：実践力（臨床）	医療チームの一員として、個々の傷病者に対し、栄養管理（栄養治療：栄養療法・食事療法）が実践できる。
【DP7】専門力3：実践力（保健）	保健チームの一員として、地域住民の健康増進と疾病予防のために貢献できる。
【DP8】専門力4：実践力（フード）	フードサービスやフードビジネス分野で、栄養管理をふまえた上で栄養部門や食品開発のトップマネジメントを担える。

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、授業の到達目標の達成度等	アンケート結果について授業担当者が内容を確認し、その内容を基に次年度の授業内容を検討する。
2	成績を用いたDP達成度の可視化	毎年、各学期末	学生	科目とDPの対照表を用いて、各学生に対し、DP毎のGPA、学修量を算出するもの	学生の学修改善のため、学生との面談に利用する。
3	学生によるDP達成度の自己評価	毎年、各学期末	学生	DPルーブリック（4段階）を基に学生がDPの達成状況の自己評価するもの	学生の学修改善のため、学生との面談に利用する。
4	成績分布	毎年、各学期末	学生	GPAの分布、各科目の成績分布、単位取得状況	学生の学修改善のため、学生との面談に、学生のGPA・単位修得状況を利用する。
5	卒業年次生アンケート	毎年、卒年次	学生	卒業することが決定した学生を対象に実施するアンケート 学修成果として定めている力（学士力・専門力）の達成度、在学期間における成長実感、教育内容および学修環境に対する満足度等	学科にて情報共有し、次年度以降の学科の方向性を検討する際の資料とする。
6	進路状況調査	毎年、卒年次	学生	卒業生の進路状況	オープンキャンパス・高等部対象学科説明会・後援会主催「学科毎の懇談会」等において、卒業生の進路を紹介する。
7	基礎学力試験	毎年、1年次	学生	基礎学力試験には、国語・数学の基礎に関する問題が含まれている。試験は、管理栄養学科1年生春学期の基礎教育講座Ⅰにおいて実施される	学生の学修改善のため、基礎学力試験の成績下位者には個別面談を行い、必要に応じてスタディサポートデスク・リメディアル講座を勧める。